

これまでの研究サロン - 2013 年度 -

第 2 回「理学療法学科ヘルスプロモーションコースにおける研究活動」

開催日時：10月23日 15:00-16:30

場所：京都橘大学 第2会議室

発表者：村田 伸（健康科学部理学療法学科教授）

内容

我が国における理学療法士はこれまで、その対象を「障害を有する人」とし、彼らの基本的な動作能力の回復を図るために、主に病院で運動療法や物理療法を用いて「治療」を行ってきました。しかし今日、理学療法士に対するニーズは、治療という観点のみならず、病気や怪我の予防、高齢者の要介護状態になることの防止、障害を抱えながら生活する人たちへの支援、健康増進などQOLの立場からもその期待が高まっています。本コースでは、リハビリテーション医療の中心的役割を担ってきた従来の理学療法に加え、疾病予防や介護予防、健康増進を含んだ包括的な理学療法を「ヘルスプロモーション理学療法」と定義しています。現在までに行ってきた研究活動を紹介するとともに、来年度から開始されるコースにおける研究活動の計画案について報告します

第 1 回「女性歴史文化研究所の現状と問題点」

開催日時：7月10日 15:00-16:30

場所：京都橘大学 第2会議室

発表者：高久 嶺之介（女性歴史文化研究所所長／文学部歴史学科教授）

内容

女性歴史文化研究所は、女性の歴史や文化に関する総合的研究を行うことを目的として 1992 年に開設された全国でも稀有な特色を持つ研究所です。以来 21 年、学術講演会やシンポジウムの開催、研究紀要、広報誌「CHRONOS（クロノス）」の発行、出版物の刊行などを継続的に行ってきました。そのような実績を持ちながらも、現在多くの問題点も抱えています。それらの問題点を他大学の研究所の事例も交えながら率直に披瀝し、本学の研究機関の今後の方向性を探るための討論の素材を提示できればと思います。